

# 第28回郷土訪問の 旅の実施について

東京旭川会 副会長  
西谷内 力世



東京旭川会は平成28年度をもちましてめでたく創立40周年を迎えます。その記念行事の一つとして、第28回『郷土訪問の旅』を6月17日(金)〜19日(日)高橋会長を団長とする総勢25名にて開催しました。

17日(雨)、北彩都ガーデン・大池プロムナードの散策ならず、ガーデンハウス内で昨年7月31日北彩都ガーデンランドオープン時のビデオを見る。

40周年記念の植樹祭は雨合羽を着ての植樹となりました。「ミズナラとシナノ木」2本の植樹を、駅南側大池プロムナード入口近辺の目立つ場所に、旭川関係者と共に、1チーム6名で土入れ、作業。毎年生育ぶりを見とどけたいと思います。

大雪地ビル館での歓迎昼食会後、北海道開拓使・屯田兵等資料館である「北鎮記念館」をガイド付きで見学し、本日の宿ホテル層雲閣に到着。郷土料理に舌鼓、その後のど自慢大会では、審査委員の「昭和枯れすすき」作詞家の山田先生のコメントで大いに盛り上がる。

18日(曇)、旭川関係者との交歓ゴルフ組と黒岳観光組の2コースに分かれてホテルを出

# 「屯田兵ツアー」の 歩み

東京北見会 会長  
井戸 理恵子



東京北見会の「平成の屯田兵ツアー」も今年で11回目を数えた。

初めての屯田兵ツアーから11年もの歳月が流れた、ということになる。

当初、関東在住の北見出身者による「ふるさと北見への恩返し」という名目もあり、農業体験に加えて、植樹などもして来た。ちょうどふるさと納税が始まるうとしていた時で「北見から離れて何十年も北見へ帰っていない」、「今の北見のことをまるで知らない」、「帰っても知る人のいない」、そんなふるさとを知ることを知る良き機会にもなった。久しぶりに帰った北見は北見市長を初め、北見市役所、商工会議所、議会、及び、北見会の縁者との交流で温もりに包まれた場を創出して

発。黒岳ロープウェイ、ペアリフトを乗り継ぎ7合目の広大な眺望を楽しむ。可憐な花をつけた高山植物に癒され、昼食後、幻想的な当麻鍾乳洞を見学し、上野ファームを散策後、夕刻旭川に到着。ゴルフ組は名門大雪山カントリークラブにて北の大地でナイスショット。

ゴルフ組と観光組が花月会館に合流し、西川市長他19名の旭川関係者ともに総勢42名にて交流懇親会をスタート。西川市長とともに楽しい交流の輪が広がり、市の関係者の皆様には出席者一同深く感謝申し上げてお開きとなりました。

翌日会長他有志にてレスリング女子日本チームウエルカムパーティーに参加、「目指せ金メダル！」当会として応援の寄せ書き、今回の旅に終止符。

れる。物言わぬ北見という土地の代弁者のようだ。そして、参加者はまさに北見へ戻ったという感を強く心に刻む。「ふるさと」とはやはり「ふるさと」の因子をもつ人なのだ、と改めて確信する。

ここ数年他のふるさと会同様北見会も高齢化が進み、屯田兵ツアーの会員の参加は少なくなってきた。しかしながら、会員の友人、つまり北見出身ではない人の参加が増えてきている。みな北見に好感をもち、度々参加してくれるようになった。そこで北見及びオホーツクの観光誘致、企業誘致なども視野に入れた「北見ファン倶楽部」が発足しようとしている。ここに新たなふるさと会の形が生まれればと期待が高まる。

今後、東京北見会の「平成の屯田兵」は関東在住のふるさとへの因子をもつ人々の集まりから発現し、牛歩ではあるが故郷の持続、発展に役立つように活動してきた。今後も新しきことに挑戦し、精進していきたいものである。

写真は今年5月の屯田兵ツアーの模様。弟子屈にある「渡辺体験牧場」さんにて、放牧された「東京北見会」及び「北見ファン倶楽部」の皆さん、です。



5月の牧場の美味しい空気をどうぞ!!

## 店舗ご案内

東京都中央区八重洲2丁目2-1ダイヤ八重洲ビル1F  
▲JR東京駅八重洲中央口を出て、大きな通りを渡って、右に50mほど。

東京駅八重洲口前

### HOKKAIDO FOODIST

#### 北海道フーディスト

www.foodist.co.jp

営業時間:あさ10時~よる8時  
年中無休(年末年始を除く)

TEL.03-3275-0770

## 北海道から世界に伝えます

### 日本の心・日本の味

From Hokkaido to the World  
: The Heart and Flavor of Japan

## 木綿屋男山本家

# 男山株式会社

北海道旭川市永山2条7丁目1番33号  
TEL 0166-48-1931

<http://www.otokoyama.com/>